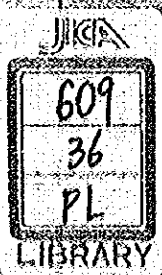
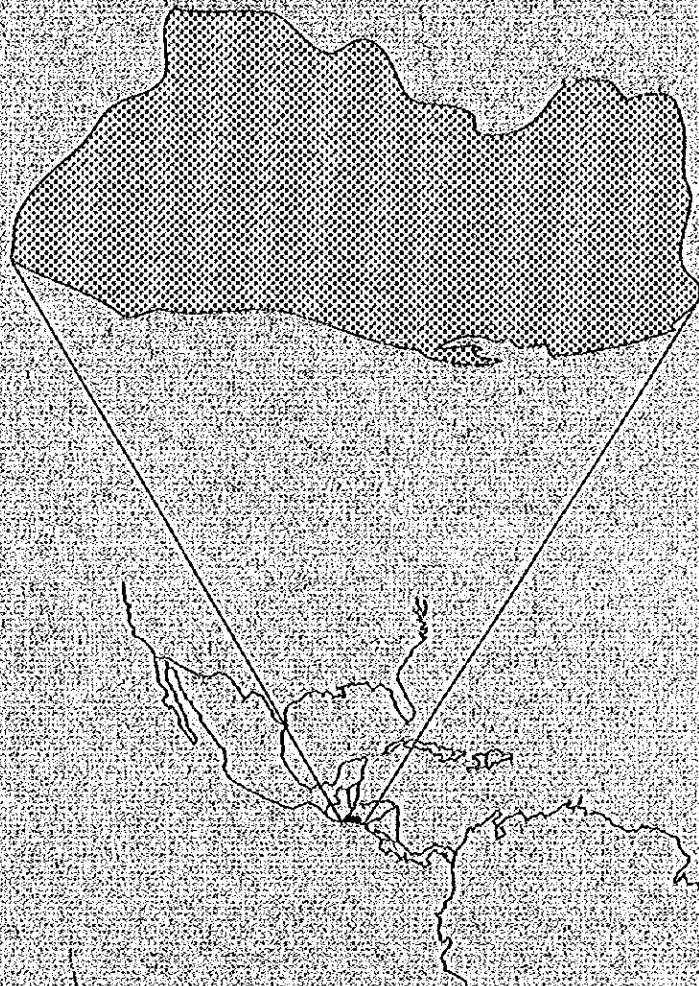


平成4年度

JICA 国別協力情報

エル・サルヴァドル

REPUBLIC OF EL SALVADOR



国際協力事業団

国際協力事業団

24018

JICA LIBRARY



1099200(6)

24018

作成にあたって

近年開発途上国が抱えている開発課題及び開発ニーズは、開発途上国の経済発展の度合い、経済的・社会的な諸条件及び自然環境の状況等により、ますます多様化・複雑化してきています。こうした状況の中、より効率的・効果的な援助を実施するためには、被援助国の真の開発課題と開発ニーズを的確に把握することが必要となるとともに、被援助国の開発計画及び国際機関を含めた他の援助機関の援助動向と我が国の援助との整合性を図ることが重要となってきています。このため国際協力事業団（JICA）は、援助対象国のうち81ヶ国について、それぞれ当該国の経済・社会の概要、国家経済社会開発計画の概要及び我が国をはじめとする主要援助供与国、国際機関の援助実績とその動向等を調査し、本書を取りまとめました。（平成3年度に41ヶ国、平成4年度に40ヶ国を作成）

本書は、JICA職員及び派遣専門家等が我が国の国際協力の方向性を考え、個々の協力案件を実施するための基礎資料として、また各種調査団等の携行資料として活用されることを願うものです。

ここに、本書作成にご協力いただいた関係各位にあらためて感謝申し上げます。

平成4年7月

国際協力事業団

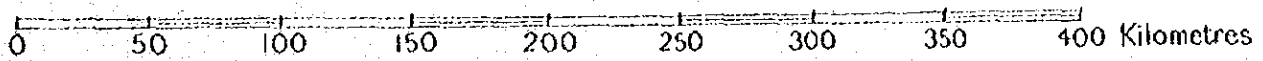
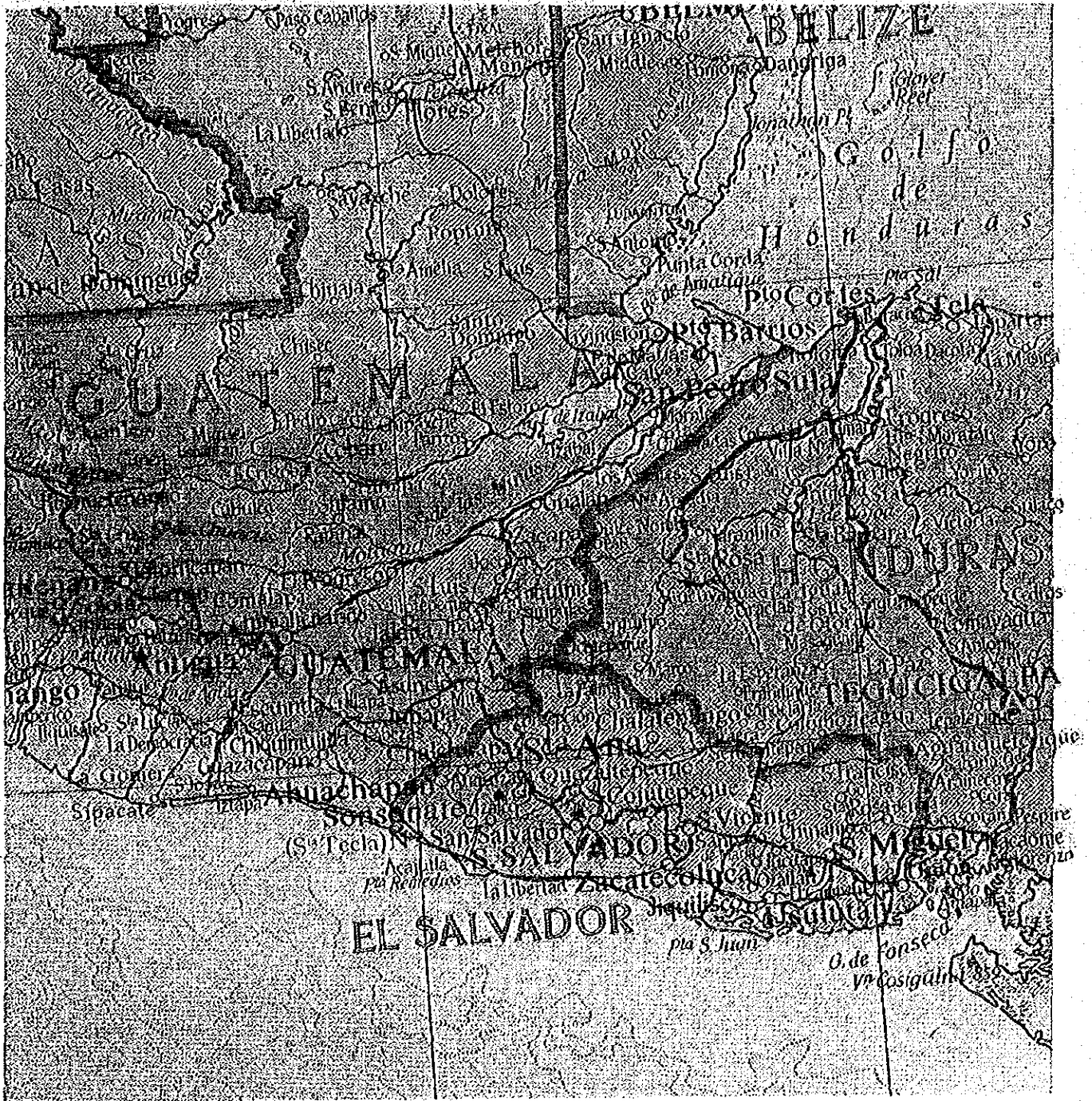
企画部長

鏡 武

国際機関名略称

AfDB	-African Development Bank	アフリカ開発銀行
AfDF	-African Development Fund	アフリカ開発基金
AsDB	-Asian Development Bank	アジア開発銀行
CarDB	-Caribbean Development Bank	カリブ開発銀行
EC	-European Communities	欧州共同体
EEC	-European Economic Communities	欧州経済共同体
EDF	-European Development Fund	欧州開発基金
FAO	-Food and Agriculture Organization	国際連合食糧農業機関
IBRD	-International Bank for Reconstruction and Development	国際復興開発銀行 (通称; 世界銀行)
IDA	-International Development Association	国際開発協会 (通称; 第二世界銀行)
IDB	-Inter-American Development Bank	米州開発銀行
IEA	-International Energy Agency	国際エネルギー機関
IFAD	-International Fund for Agricultural Development	国際農業開発基金
IFC	-International Finance Corporation	国際金融公社 (世界銀行グループ)
IGGI	-Inter-governmental Group on Indonesia	インドネシア債権国会議
ILO	-International Labour Organization	国際労働機関
IMF	-International Monetary Fund	国際通貨基金
ITU	-International Telecommunications Union	国際電気通信連合
OECD	-Organization for Economic Cooperation and Development	経済協力開発機構
OPEC	-Organization of Petroleum Exporting Countries	石油輸出国機構
UNCTAD	-United Nations Conference on Trade and Development	国連貿易開発会議
UNDP	-United Nations Development Programme	国連開発計画
UNESCO	-United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	国連教育科学文化機関
UNFPA	-United Nations Fund for Population Activities	国連人口活動基金
UNHCR	-Office of the United Nations High Commissioner for Refugees	国連難民高等弁務官事務所
UNICEF	-United Nations Children's Fund	国際連合児童基金
UNIDO	-United Nations Industrial Development Organization	国連工業開発機関
UNRWA	-United Nations Relief and Works Agency for Palestine Refugees in the Near East	国連パレスチナ難民救済事業機関
WFP	-World Food Program	世界食糧計画
WHO	-World Health Organization	世界保健機構
WMO	-World Meteorological Organization	世界気象機関

El Salvador



(c) Bartholomew. Extract from the Times Atlas of the World. (Eighth Edition 1990).
 Reproduced with permission. All rights reserved.

目 次

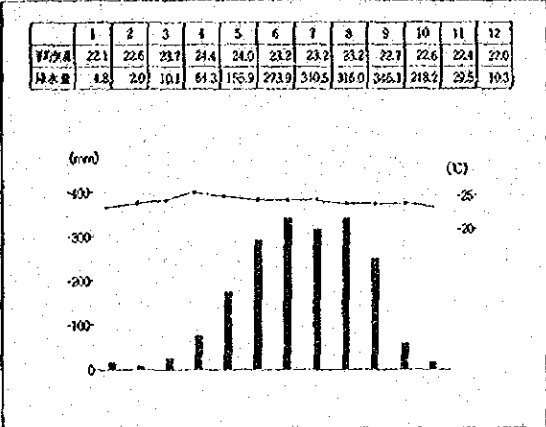
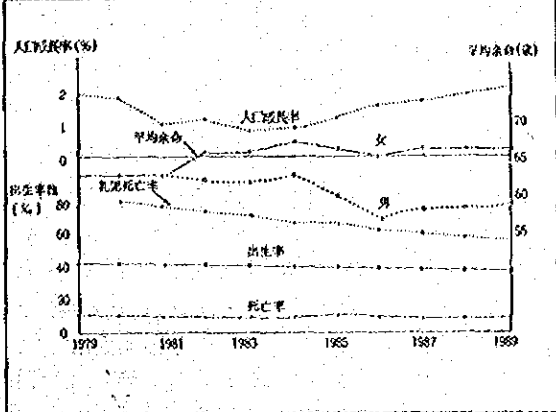
I. 概 況	1
II. 経済情勢及び経済・社会開発計画	
1. 経済情勢	5
2. 国家経済社会開発計画	8
3. 我が国との関係	9
III. 援助実績と動向	
1. 援助の概況	10
2. 主要援助国及び国際機関の援助実績と動向	11
3. 我が国の援助実績と動向	14
4. ファクトシート	19
IV. プロジェクト配置図	
1. プロジェクト方式技術協力	22
2. 開発調査	23
3. 無償資金協力	24
4. 円借款	25

図表リスト

- 図- 1 エル・サルヴァドルにおける平均気温・降水量
- 図- 2 エル・サルヴァドルの人口
- 図- 3 民族等
- 図- 4 輸出入の変化
- 図- 5 援助形態別ODA推移
- 図- 6 援助主体別ODA推移
- 図- 7 エル・サルヴァドルへのODA
- 図- 8 エル・サルヴァドルへの技術協力
- 図- 9 エル・サルヴァドルへの無償資金協力
- 図-10 エル・サルヴァドルへの借款
- 図-11 我が国の対エル・サルヴァドルODA実績
- 図-12 過去10年間の年度別受入及び派遣人数
- 図-13 分野別の研修員受入累積実績
- 図-14 分野別の専門家派遣累積実績
- 図-15 分野別の協力隊派遣累積実績
- 図-16 分野別の調査団派遣累積実績
- 図-17 分野別の無償資金協力累積実績
- 図-18 分野別の円借款累積実績

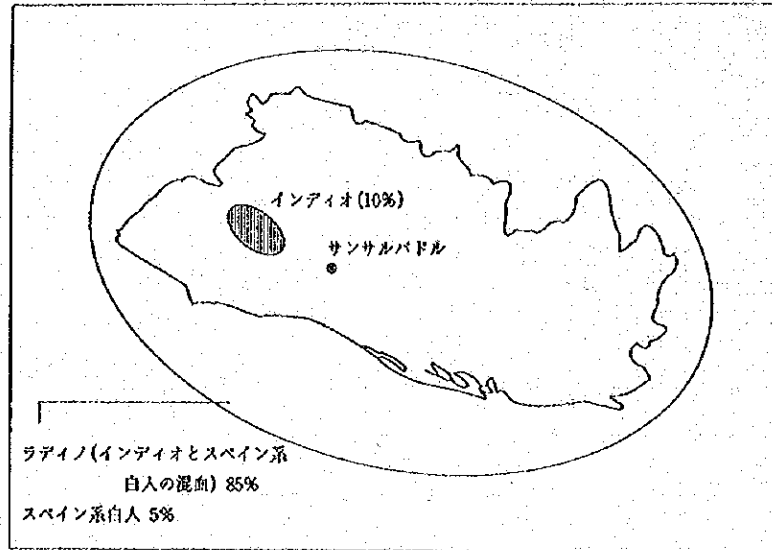
- 表- 1 主要経済指標
- 表- 2 主要産業別シェア
- 表- 3 1990/91年度 国家予算

I. 概 況

1) 正 式 国 名	エル・サルヴァドル共和国 (Republic of El Salvador)																																							
2) 独 立 年 月 日	1821年 9月 15日 <旧宗主国> スペイン																																							
3) 政 体	立憲共和制 <元首の名称> <i>アルフレド・クリスティアニ・ブルカド</i> (Alfredo Cristiani Burkard)																																							
4) 面 積	21千平方キロメートル (日本の四国よりやや大きい) (注1)																																							
5) 首 都	サン・サルヴァドル (46.3万人、1987年) (注2)																																							
6) 気 候	<p>熱帯に属するが、山岳、高原地域は暑気と湿気が少なく生活しやすいため、首都サン・サルヴァドル初め主要都市は比較的高地に多い。</p> <p style="text-align: center;">図-1 エル・サルヴァドルにおける平均気温・降水量</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>平均気温</td> <td>22.1</td> <td>22.6</td> <td>23.7</td> <td>24.4</td> <td>24.6</td> <td>23.2</td> <td>23.2</td> <td>23.2</td> <td>22.7</td> <td>22.6</td> <td>22.4</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>降水量</td> <td>4.8</td> <td>2.0</td> <td>10.1</td> <td>61.3</td> <td>155.9</td> <td>273.9</td> <td>340.5</td> <td>316.0</td> <td>365.1</td> <td>218.2</td> <td>22.5</td> <td>10.3</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center;">出所 『世界各国要覧』 1991年 東京書籍</p> </div>		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均気温	22.1	22.6	23.7	24.4	24.6	23.2	23.2	23.2	22.7	22.6	22.4	22.0	降水量	4.8	2.0	10.1	61.3	155.9	273.9	340.5	316.0	365.1	218.2	22.5	10.3
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12																												
平均気温	22.1	22.6	23.7	24.4	24.6	23.2	23.2	23.2	22.7	22.6	22.4	22.0																												
降水量	4.8	2.0	10.1	61.3	155.9	273.9	340.5	316.0	365.1	218.2	22.5	10.3																												
7) 人 口	<p><総人口> 約 5.2百万人 (1990年) (注1)</p> <p><人口成長率> 1.4% (1980~1990年) (注1)</p> <p><平均寿命> 男 60歳 女 68歳 (1990年) (注1)</p> <p style="text-align: center;">図-2 エル・サルヴァドルの人口</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: center;">出所 World Tables 1991 The World Bank World Development Report 1981-1991 The World Bank</p> </div>																																							

8) 言語	<公用語> スペイン語
9) 民族等	スペイン系白人と原住民との混血85%、白人5%、原住民10%

図-3 民族等

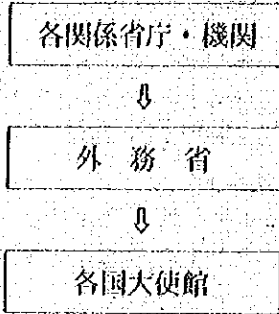


出所 『世界地理14ラテンアメリカ』 1981 朝倉書店

10) 宗教	国民の91%はカトリック教徒であり、カトリックの祭りが盛大に行われ、これは信仰心の厚い庶民のレクリエーションともなっている。
11) 文化	文化はマヤ文化とスペイン文化の混合文化であるが、下層階級になるほどマヤ文化の影響が強く残っており、上層階級にはスペイン、ヨーロッパ文化の影響が強く残っている。
12) 教育	<p><義務教育> 7~15歳 (注3)</p> <p><就学率> (標準就学年齢人口に対する総就学者の比率)</p> <p>初等教育: 80% (1988年) (注1)</p> <p>中等教育: 29% (1988年) (注1)</p> <p>高等教育: 17% (1988年) (注1)</p> <p><識字率> 73% (1990年) (注1)</p>
13) 保健・医療	<p><医師一人当たりの人口> 2,830人 (1984年) (注1)</p> <p><看護人一人当たりの人口> 930人 (1984年) (注1)</p> <p>乳児死亡率(0~1歳) 1,000人当たり58人</p> <p>幼児死亡率(0~5歳) 1,000人当たり84人</p> <p>出生時平均余命: 63歳</p>
14) 通貨	<p>コロン (1コロン = 16.90円) (注4)</p> <p>(1992年4月27日現在)</p>

15) 会 計 年 度	1月1日～12月31日
16) 略 史	<p>1524年 スペイン人の侵入</p> <p>1528年 スペインの植民地となる</p> <p>1821年 スペインから独立</p> <p>1823年 中米諸州連合を結成</p> <p>1841年 分離独立</p> <p>1931年 エルナンデス將軍によるクーデター</p> <p>1932年 同將軍による農民虐殺事件</p> <p>1944年 エルナンデス独裁政権の崩壊</p> <p>1979年 マハノ大佐など軍部内進歩派によるクーデター</p> <p>1984年 大統領選挙でドゥアルテが大統領に選出された</p>
17) 政 治	<p><内政></p> <p>1989年3月、ARENA（国民共和同盟）のクリスティアーニ候補が大統領に当選し、治安についてはFMLN（ファラブンド・マルティ民族解放戦線）との対話路線を継承することとなった。同年9月、10月、新たな対話が行われたが、交渉は行き詰まり、同年11月、FMLNが首都を中心に大攻勢をかけ、1,000名以上の死者を出す事態に至り、対話は中断した。しかし、その後、90年4月から国連事務総長の斡旋のもと非公式に対話が行われ、両者の妥協点が狭まってきた。91年3月に行われた国会議員・地方選挙では、FMLNと関係の深いCD（民主連合）、UDN（国民連合）が初めて議席を獲得し、国政にその声を反映しうる立場となった。そして、92年1月16日、ついに政府・ゲリラ間和平協定が調印され、12年間に及ぶ内戦に終止符を打つことになったのである。</p> <p><外交></p> <p>歴史的、地理的に中米諸国との関係が緊密で、特に隣国グアテマラ、ホンデュラスとの関係が深い。19世紀グアテマラとの間で互いに内政干渉的なこともあったが、1938年国境問題が最終的に解決してからは友好関係にある。他方ホンデュラスとの間で国境問題、エル・サルヴァドル人のホンデュラス移住問題等を原因とし「サッカー戦争」が起こった。これについては80年平和条約が調印され、現在ハーグの国際司法裁判で国境画定につき係争中である。</p> <p>国際政治上では、米国との友好協力関係を基本政策に反共主義をとっている。</p>
18) 軍 事	<p><国防予算> 143,383 万ドル (1990年)</p> <p><兵 役> 選抜徴兵制</p> <p><総兵力> 現 役： 43,600 人</p> <p>(陸軍 40,000人 海軍 1,200人 空軍 2,400人)</p> <p>予備役： N.A. (注5)</p>
19) 我が国との協定	<p>1963年7月 通商協定締結</p> <p>1968年7月 青年海外協力隊取極締結：1979年に政情不安により全員引き揚げたまま現在に至っている</p> <p>1973年7月 査証相互免除取極締結</p>

20) 援助要請のための国内手続き



- 出所 (注1) World Development Report 1992 The World Bank
(注2) 『イミダス』 1992 集英社
(注3) 『ユネスコ文化統計年鑑』 1989 原書房
(注4) 東京銀行調べ
(注5) 『ミリタリー・バランス 1991-1992』 1992 メイナード出版

II. 経済情勢及び経済・社会開発計画

1. 経済情勢

(1) 一般動向

エル・サルヴァドルは国土狭小、人口過密であり、主要産業はコーヒー、綿花、砂糖等を主要産品とする農業と1960年代に発展した工業であるが、外貨収入をコーヒーに大きく依存するモノカルチャー的性格を脱していない。

最近では工業化がエル・サルヴァドル経済の成長の重要な要素となっているが、ゲリラ活動の活発化により大幅な減産状態が継続しており、建設、運輸、観光の後退も著しい。しかしながら、92年1月の和平合意成立により、今後資本が還流することになれば、経済回復の可能性は高い。

表-1 主要経済指標

	1988年	1989年	1990年
GDP (百万ドル) (注1)	5,470	5,860	5,400
実質GDP成長率 (注2)	1.6 %	1.1 %	3.4 %
一人当たりGNP (ドル) (注1)	940	1,070	1,110
消費者物価上昇率 (注2)	19.8 %	17.6 %	24.0 %
失業率 (注3)	N.A.	N.A.	10.0 %
貿易収支 (百万ドル) (注1)	- 402	- 530	- 650
輸出額 (百万ドル)	573	610	550
輸入額 (百万ドル)	975	1,140	1,200
経常収支 (百万ドル) (注1)	- 242	- 463	- 360
対外債務残高 (百万ドル) (注1)	1,806	1,851	2,133
外貨準備高 (百万ドル) (注1)	354	454	595

出所 (注1) World Development Report 1990-92 The World Bank

(注2) Country Report : Guatemala, El Salvador, Honduras No. 2 1992 EIU

(注3) 「エル・サルヴァドル共和国概観」 1991 外務省

表-2 主要産業別シェア

	農 業	鉱工業	サービス業等
産業別GDP構成比(1990) (注1)	11 %	21 %	67 %
産業別成長率(1980-1990) (注1)	- 0.7 %	- 0.6 %	1.7 %
産業別雇用 (1980) (注2)	40.0 %	20.8 %	37.5 %

出所 (注1) World Development Report 1992 The World Bank

(注2) 『データブック』 1991 二宮書店

(2) 国家財政

7) 財政政策

1989年以降、クリスティアーナ政権は、公共支出の思い切った削減、公営部門の生産物及びサービス価格の引き上げを政策としている。

4) 政府財政

1990年度の財政収支はGDP費 3.2%の赤字となり、さらに91年度はGDP費 5.1%の赤字となった。

政府は、これらの赤字を外国からの援助や債務で補い、国内債務を抑え、インフレを抑制している。

表-3 1990/91 年度 国家予算
(単位：百万コロン)

	1990	1991
経常歳入	3,566	4,355
経常歳出	4,148	5,412
資本収入	2	3
資本支出	753	887
貸付け	-19	477
財政収支	-1,314	-2,418

出所 Country Report : Guatemala, El Salvador, Honduras No. 2 1992. EIU

9) 金融政策

政府の金融政策はその第1目標を当面のインフレ抑制・為替安定に置いているが、1990年においては同政策はまずまずの成果を挙げ、インフレ率は前年の23.5%から19.3%に低下すると共に一連の為替政策により名目為替レートも安定し、銀行と闇レートの格差は大きく狭められた。

(3) 国際収支

12年に亘る内戦の影響を受けつつも、1990年の当国経済は過去10年間で最高の経済成長率（3.4%）を記録し、今後、将来に向け極めて明るい見通しを呈することとなった。上記経済成長に伴い輸出入とも増大し、特に歳入の大幅な伸びにより貿易収支赤字の対GDP比は前年比若干上昇したものの、経常収支赤字は減少、総合収支はプラスに転じた。

7) 貿易収支

貿易収支は、1988年以降毎年赤字が約100百万ドルずつ増加し、90年には650百万ドルの赤字を計上した。

政府は、輸入制限と輸出品目の増産によって、貿易収支改善を目指すとともに、外貨の導入により、貿易収支の低調を補う方針をとっている。

8) 経常収支

公的移転を含まない経常収支は、ここ数年、赤字基調で推移している。

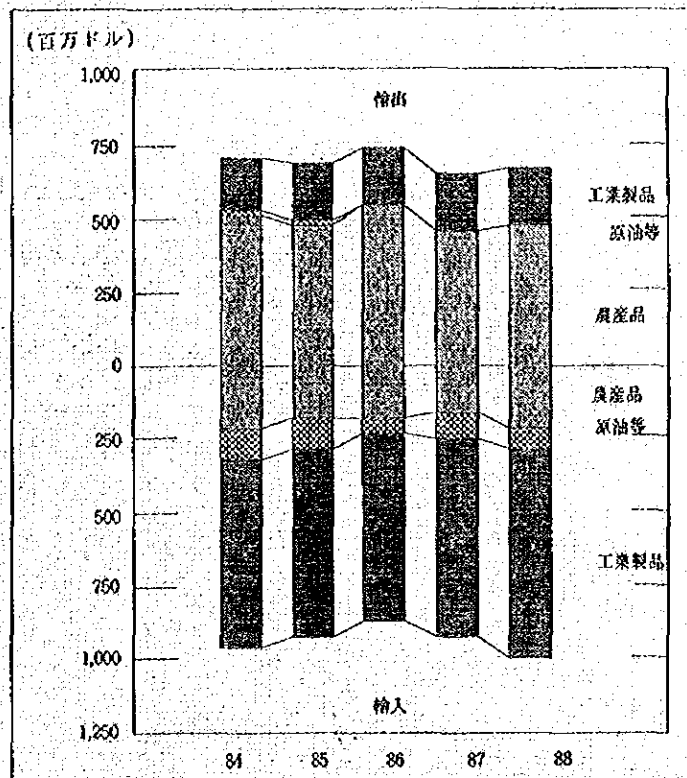
9) 資本収支

1980年代の資本収支は、黒字を計上しているが、87年代には60.9百万ドル（IMF資料）の赤字になった。88年以降は再び黒字に転じた。

10) 対外債務残高

対外債務は年々増加し1990年には20億ドルを越えた。90年の債務返済率は、23.7%（EIU資料）となり前年度より9.1ポイント増加した。

図-4 輸出入の変化



出所 World Tables 1991 The World Bank

2. 国家経済社会開発計画

(1) 既往の開発計画

計画名	期間	概要
第3次経済・社会開発計画	1973-1977年	第3次経済、社会開発計画は73~77年をカバーするもので、その主たる目標は次のとおりである ①所得配分の是正と雇用拡大を通じて、国民の生活水準を引き上げること ②資源の有効利用、公共セクター相互の競争を通じて、農牧畜、工業の振興を図ること ③地域開発を通じて国家全体の統合を図ること ④輸出の拡大のため、開かれたより緊密な国際関係を樹立すること

(注) 「第3次経済・社会開発計画」以外の既往の開発計画は不詳。

(2) 現行の開発計画

1989年7月、クリスティアーナ大統領は、新たな経済計画を発表した。

ア) 目標

財政及び対外収支といったマクロ経済的な均衡の達成を目指す短期調整計画と、経済成長能力を回復するための中期構造調整とによって構成されている。

イ) 課題

- ① 雇用、貯蓄、投資の促進と経済の自由化
- ② 貿易の国家管理の自由化
- ③ 国立銀行の民営化

(3) 開発重点課題の概況

重点分野	主要政策	開発推進上の問題点
(1) 農地改革	①1976年、農地改革法の成立 ②80年 500ha以上の農地を対象とする第1期農地改革と小作農の自作農化を目指す農地改革 ③農業協同組合方式重視から個人農を主体とする農地改革	①大地主の階層の抵抗にあっ て失敗 ②エル・サルヴァドルの農業 で輸出・雇用の面から最も 勢いがあるのは 100~ 500 haの農場であるが、評議会 政府はこれらを対象とする 改革には着手できなかった
(2) 和平後の 治安回復	①FMLNの非武装化及び政党とし ての認可 ②政府軍、情報機関の規模・活動の 縮小 ③一般市民への武器流出禁止 ④民主化	①FMLNと政府軍との停戦 監視

3. 我が国との関係

第二次大戦中エル・サルヴァドルは、日本と交戦関係にあったが、戦後の1952年5月、対日平和条約を批准し、53年8月には両国間の外交関係が再開された。

両国間の貿易は60年代から70年代を通じて順調に発展し、エル・サルヴァドル綿花の大量買い付けにより日本側の入超傾向が続いてきたが、77年以降は、機械、工業原材料を中心に日本からの輸出も増加した。しかし、80年以降、エル・サルヴァドル経済の悪化と極端な外貨事情の逼迫により、両国間の貿易は縮小することとなった。

Ⅲ. 援助実績と動向

1. 援助の概況

DAC諸国は、1990年に支出純額で308.7百万ドルのODAを供与しており、うち無償資金協力が46%、技術協力が39%となっている。従来より米国が圧倒的なシェアを占めており、90年実績で見ると、米国は二国間ODAの80%を占めている。

国際機関は、90年支出純額で38百万ドルのODAを供与しており、米州開発銀行（IDB）、世界食糧計画（WFP）からのODAが多い。

なお、91年5月15～16日、パリにおいて、世界銀行を議長とするエル・サルヴァドル協議グループ会議が開催された。

図-5 援助形態別ODA推移

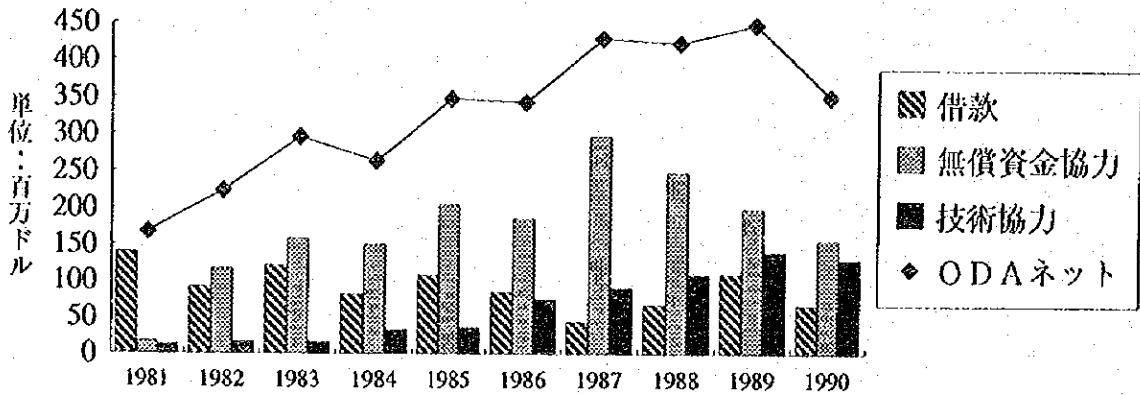


図-6 援助主体別ODA推移

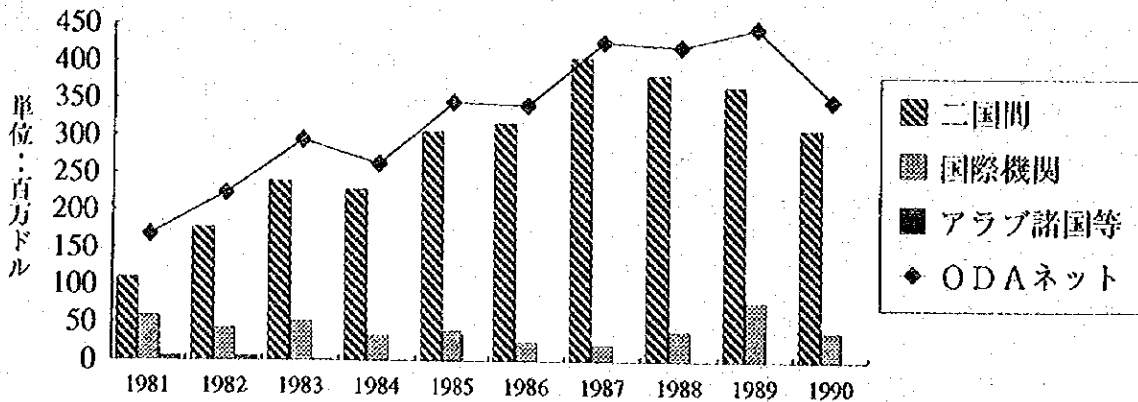


図-5, 6 出所 Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1983-1992 OECD

2. 主要援助国及び国際機関の援助実績と動向

(1) 二国間援助

ア) 米 国

従来より、対エル・サルヴァドル援助の大部分は米国が占めており、毎年 300 百万ドル前後にも及ぶ巨額の援助を実施している。

イ) 旧西ドイツ

旧西ドイツは、米国には及ばないものの、それでも毎年 20 百万ドル前後の援助を、エル・サルヴァドルに対して行っている。

(2) 国際機関等の援助

ア) 世銀グループ

世銀グループによる援助は、IBRD を主体として行われている。1991 年 2 月には構造調整貸付、91 年 6 月には社会部門復旧プロジェクトが実施されている。

イ) 米州開発銀行 (IDB)

IDB による援助は、従来より国際機関による対エル・サルヴァドル援助の中心的役割を果たしてきたが、近年までその純額は減少傾向にあり、1987 年にはわずかながらマイナスに転じた。しかし、その後、88 年にやや回復した後、89 年には 59.4 百万ドルと急激に増加し、90 年は 18.8 百万ドルの援助を実施した。

ウ) 世界食糧計画 (WFP)

WFP は、コンスタントに毎年 10 百万ドル前後の援助を実施している。

図-7 エル・サルヴァドルへのODA

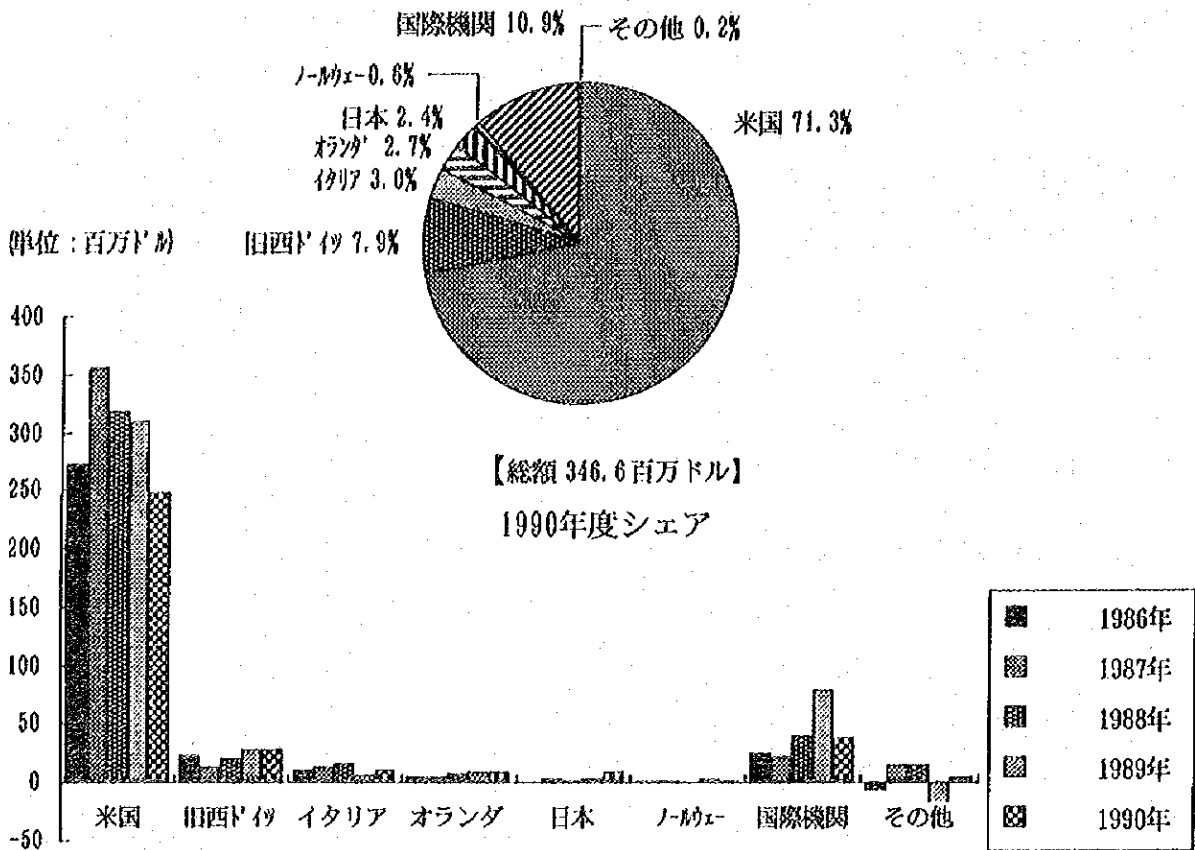


図-8 エル・サルヴァドルへの技術協力

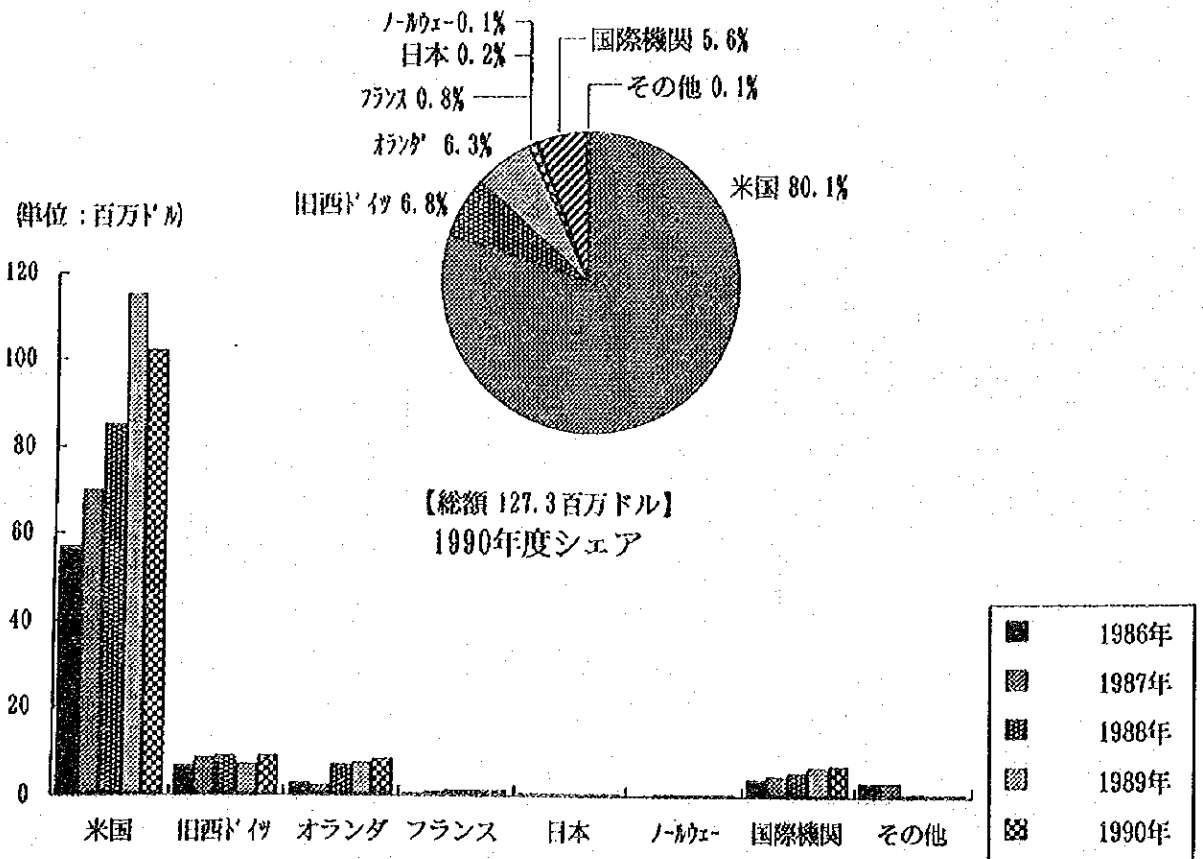


図-7, 8 出所 Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1988-1992 OECD

図-9 エル・サルヴァドルへの無償資金協力

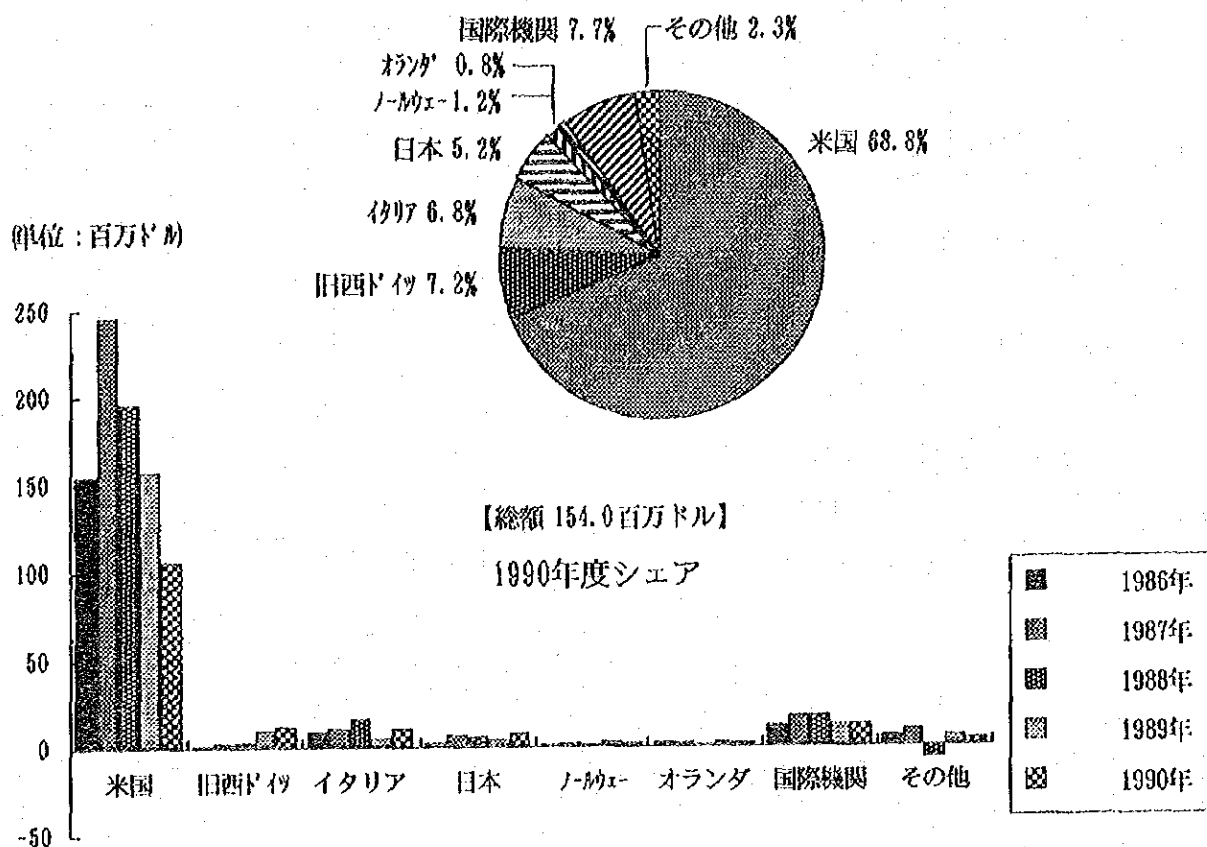


図-10 エル・サルヴァドルへの借款

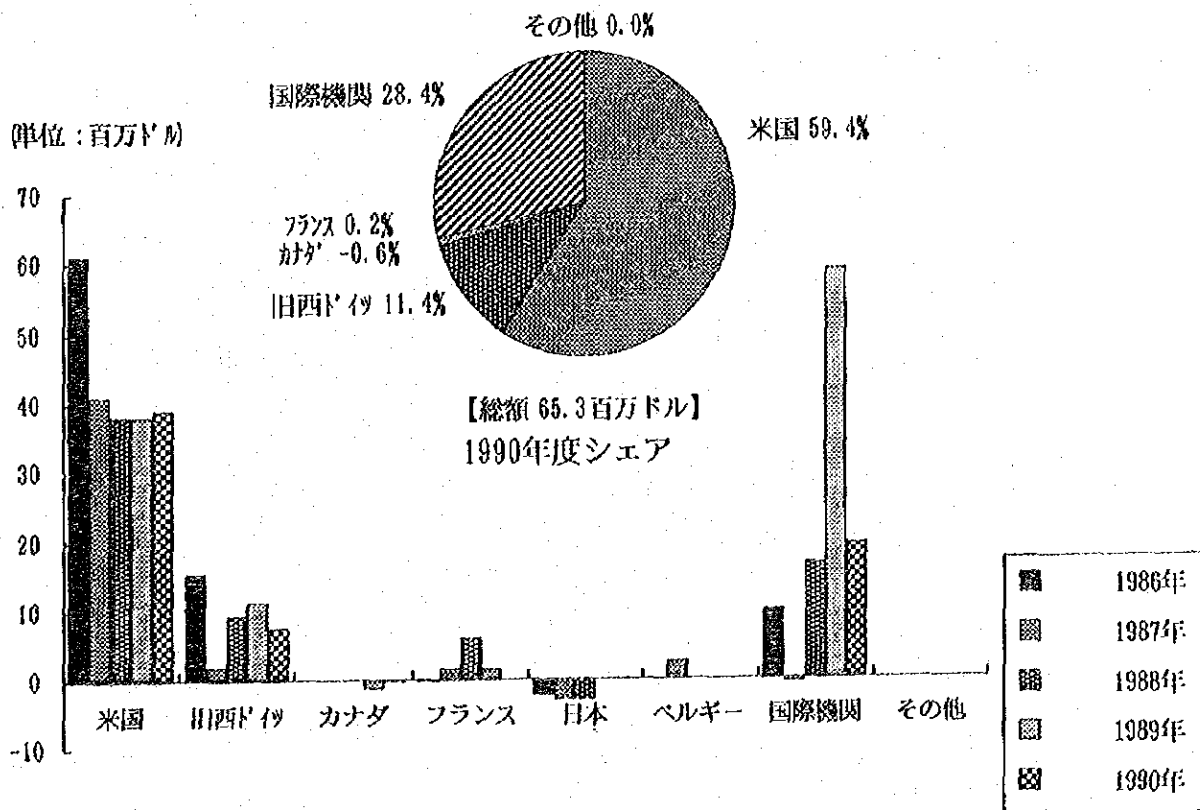


図-9, 10 出所 Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1988-1992 OECD

3. 我が国の援助実績と動向

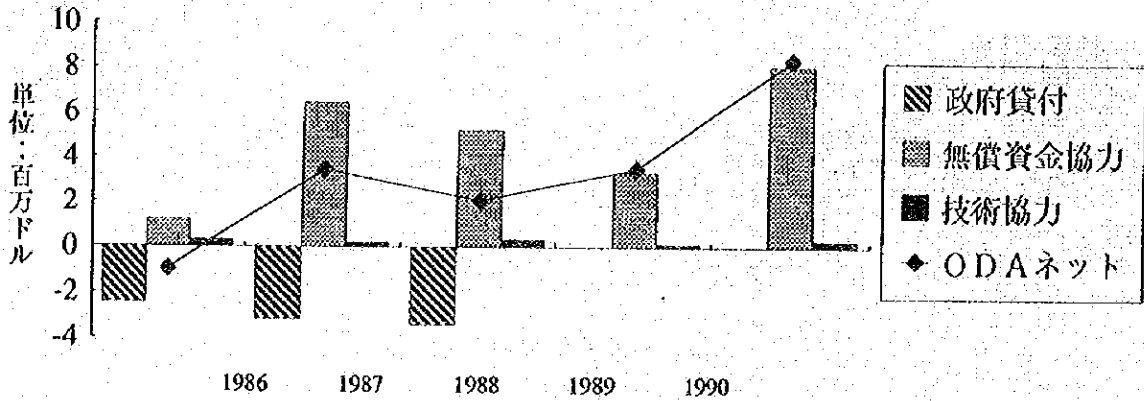
(1) ODA 総論

我が国は、エル・サルヴァドルの所得水準を勘案して、無償資金協力を中心に協力を行って来ており、1990年度の日本のエル・サルヴァドルに対する供与実績をみると、無償資金協力が96.3%（7.9百万ドル）と高い割合を示している。

(2) 技術協力

技術協力については、研修員受入を中心に行っており、1990年度までの累計で、研修員受入 195人、専門家派遣45人、青年海外協力隊派遣73人、調査団派遣34人、機材供与167 百万円、開発調査 2 件となっている。87年内戦勃発以降、専門家の派遣、協力隊員の派遣は中断されていたが、和平成立により93年以降再開の見込み。

図-11 我が国の対エル・サルヴァドルODA実績



出所 『我が国の政府開発援助』 1990 国際協力推進協会

7) 研修員受入

研修員受入については、1990年度までの累計で195人を受け入れており、90年度は運輸・交通、通信・放送、鉱工業、保健・医療等の分野を中心に22人を受け入れた。

イ) 専門家派遣

専門家派遣については、1986年度までの累計で45人の実績があるが、その後治安悪化から90年度まで派遣は行われていなかったが、93年度より再開の見込みとなっている。

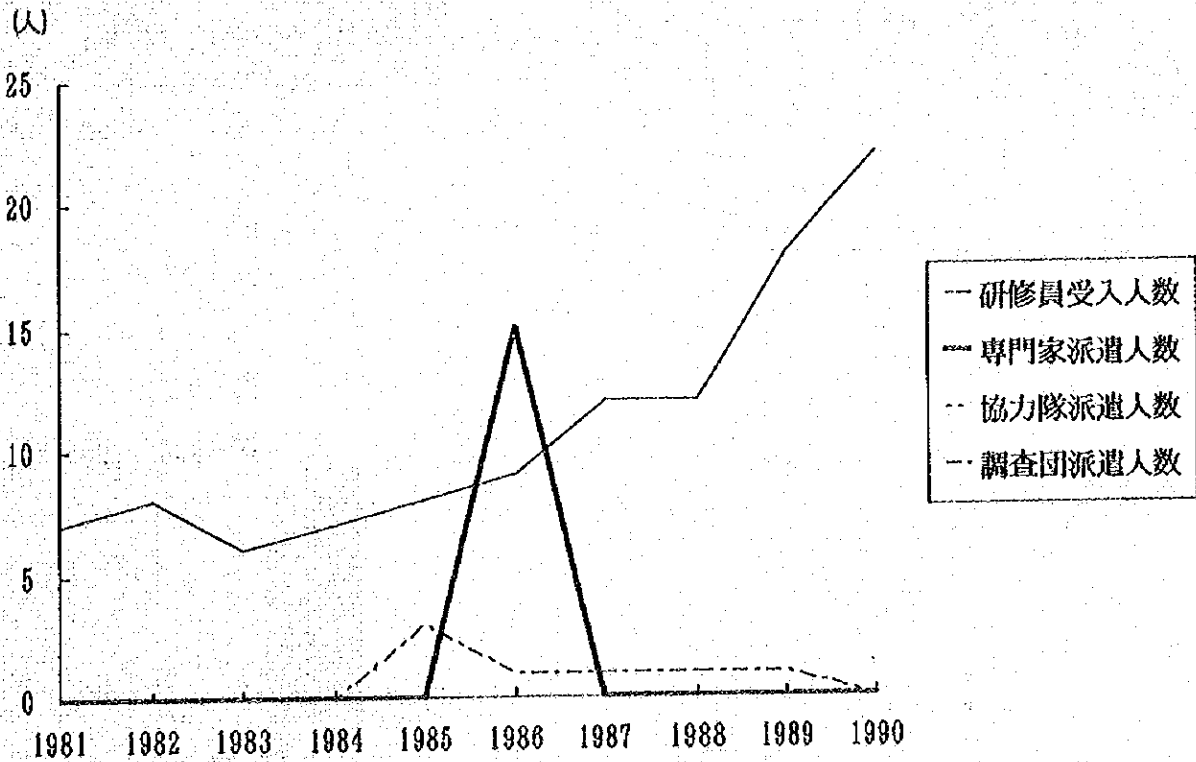
ロ) 青年海外協力隊

青年海外協力隊については、1985年度までの累計で73人の実績があるが、その後治安悪化から90年度まで派遣は行われていないが、93年度より再開の見込みとなっている。

リ) 開発調査

開発調査については、1991年度までに「金属機械工業開発計画調査」等3件が実施された。

図-12 過去10年間の年度別受入及び派遣人数



出所 「国際協力事業団事業実績表」 1991 国際協力事業団

図-13 分野別の研修員受入累積実績
(エル・サルヴァドル)

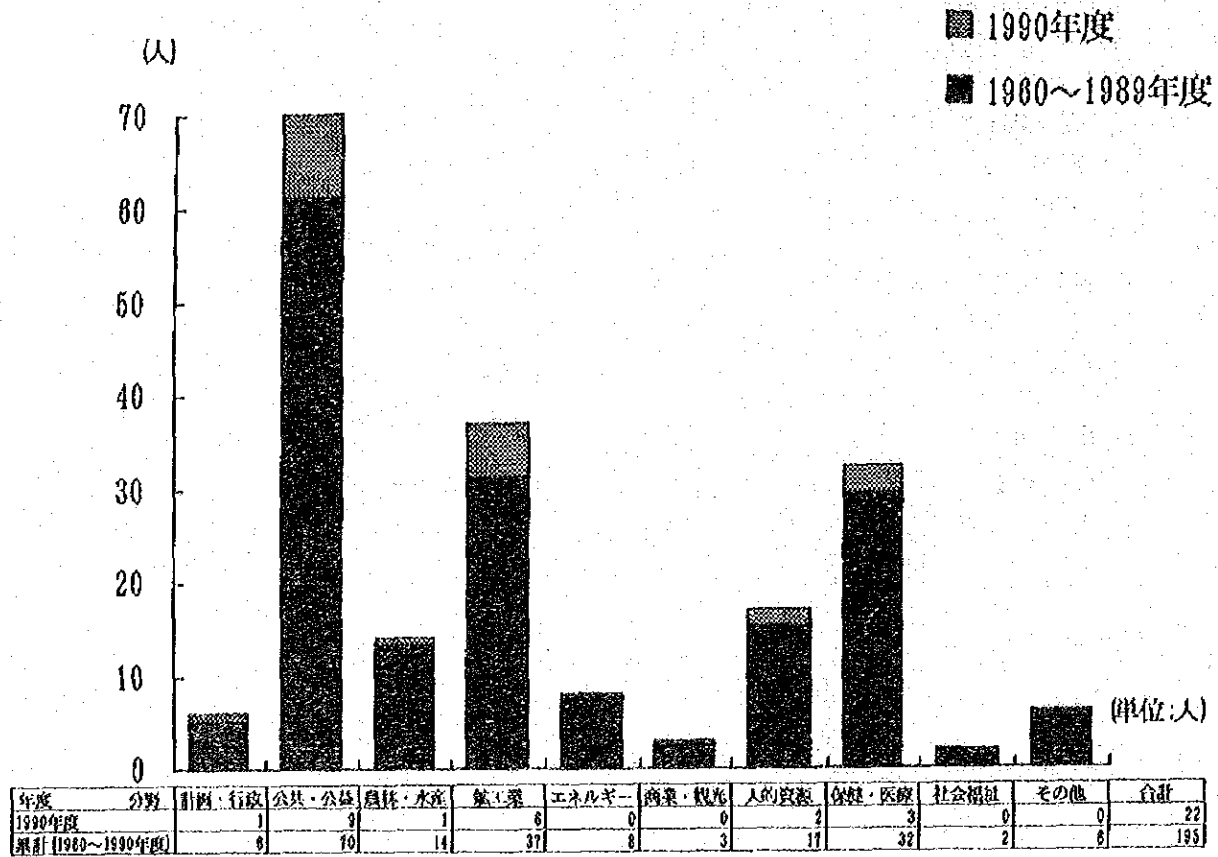


図-14 分野別の専門家派遣累積実績
(エル・サルヴァドル)

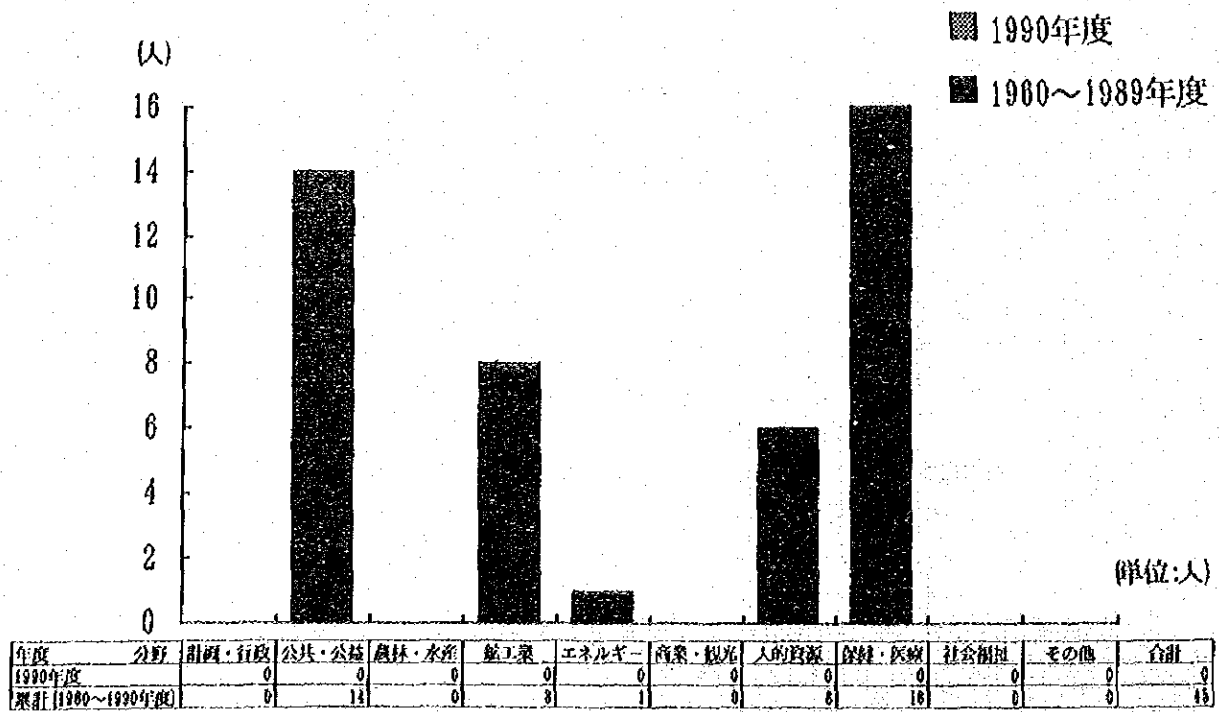


図-13, 14 出所 『国際協力事業団事業実績表』 1991 国際協力事業団

図-15 分野別の協力隊派遣累積実績
(エル・サルヴァドル)

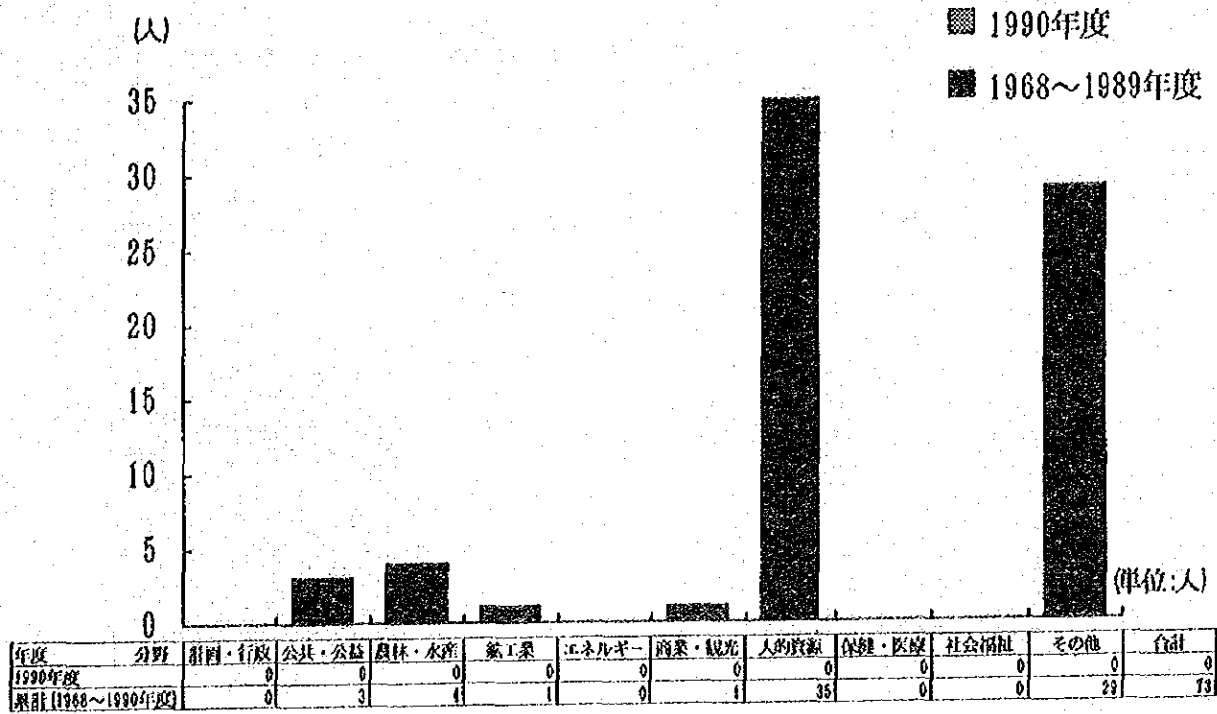


図-16 分野別の調査団派遣累積実績
(エル・サルヴァドル)

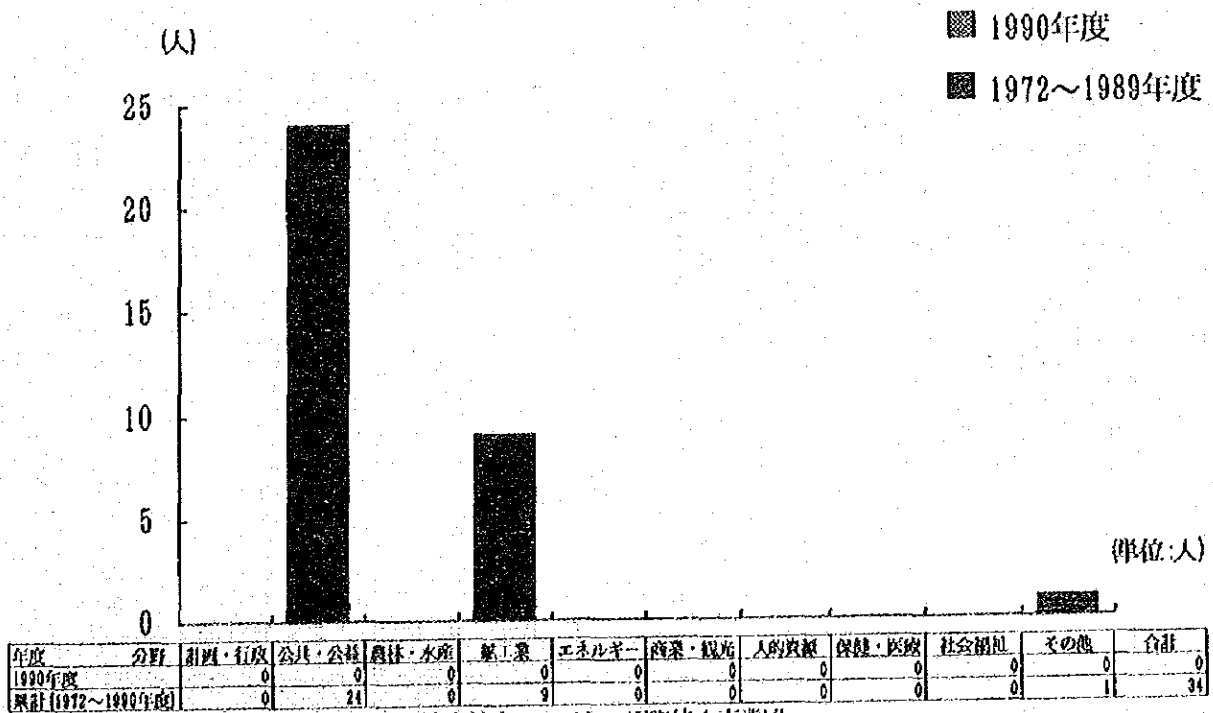


図-15, 16 出所 「国際協力事業団事業実績表」 1991 国際協力事業団

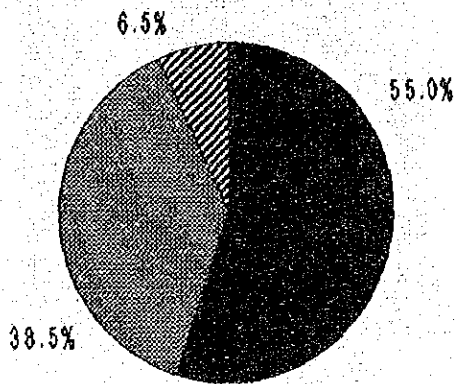
(3) 無償資金協力

無償資金協力については、1982年度に初めて洪水被害に対する約1,200万円の災害援助と3億円の食糧増産援助を実施して以来、90年度までの援助実績は首都圏の開発・整備を中心に計18件、総額約47億円に上る。

(4) 円借款

円借款については、1974年度に「首都新国際空港建設計画」に対して57億円の円借款を供与した後は、協力実績はない。

図-17 分野別の無償資金協力累積実績
(エル・サルヴァドル)



総件数18件

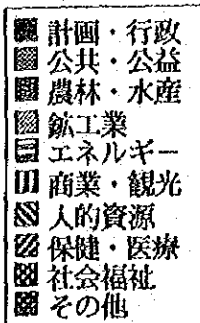
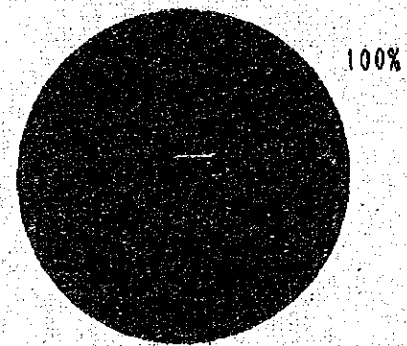


図-18 分野別の円借款累積実績
(エル・サルヴァドル)



総件数1件

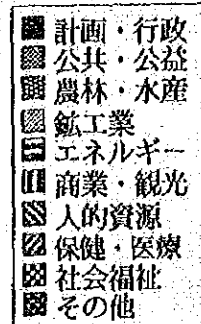


図-17, 18 出所 『国際協力事業団事業実績表』 1991 国際協力事業団

4. ファクトシート

(1) 技術協力実績

エール・サルヴァドール共和国 に対する国際協力事業団事業

	累計実績 (1954年度～1990年度)	1991年度	実績
技術協力経費	1,340	百万円	百万円
探鉱物産促進費	プロジェクト確認調査 プロジェクト形成調査 企画調査員 在外専門調査員	1件 1件 0名 0名	プロジェクト確認調査 プロジェクト形成調査 企画調査員 在外専門調査員 0件 0件 0名 0名
開発調査	1954年度開始～1990年度までの終了案件 1974年度開始～1990年度までの終了案件 1. 金属採鉱工業開発計画調査 (3)	2件 1件 (76年度～77年度)	総統 (うち終了) 0件 新規 0件
無償資金援助調査 基本設計調査	1974年度開始～1990年度までの終了案件	1件	総統 0件 新規 1件 (91年度～92年度)
プロジェクト 方式技術協力	1954年度開始～1990年度までの終了案件 1974年度開始～1990年度までの終了案件	0件 0件	総統 (うち終了) 0件 新規 0件
個別専門調査派遣	29名 (経済インフラ 鉱工業 人的資源)	48% 28% 21%	名 総統 名 名 新規 名 (長期) (長期) (短期) (短期)
ミニプロ 研究協力	1977年度開始～1990年度までの終了案件	件	総統 件 新規 件

(1) 技術協力実績

エル・サルヴァドル共和国 に対する 国際協力事業団 事業

		累計実績 (1954年度～1990年度)		1991年度 実績	
単独機材供与	件	14	百万円	件	百万円
医療特別機材供与	件		百万円	件	百万円
研修員受入	名	195	(経済インフラ 36%) (遊工業 19%) (保健医療・福祉 16%)	継続 22名 新規 21名 一般 21名 研修員 7名 国際機関 1名 青年招へい 0名 0名 3名 13名 0名 0名	(うちC/P 1名) (うちC/S 0名) (うち国際特設等 0名)
第三国研修	件	1977年度開始～1990年度までの終了案件		継続	件
青年海外協力隊	名	73	(人的資源 48%) (その他 40%) (農林業 5%)	新規	件
移生事業	件			継続	名
開発投資	件		百万円	新規	名
緊急援助	件	1	百万円	継続	件
		1985年度～1990年度実績		新規	件

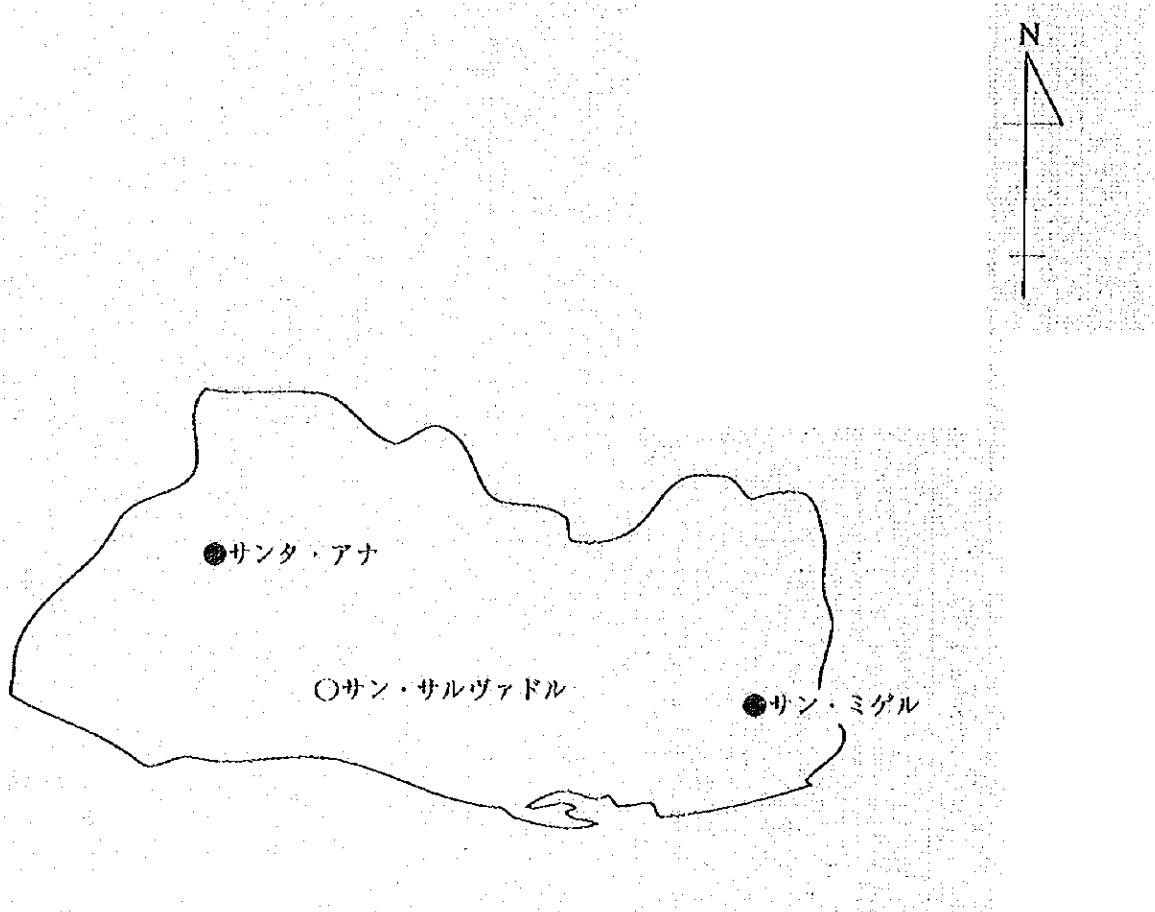
(2) 資金協力実績

	無償資金協力		有償資金協力	
	主要案件名	金額(億円)	主要案件名	金額(億円)
～1985年度累計	4件	8.62	1件	57.00
1986年度	3件	7.22	0件	
	1. 食糧援助	(4.00)	1.)	()
	2. 震災復旧計画	(2.70)	2.)	()
	3. 災害緊急援助(地震災害)	(0.52)	3.)	()
	4.)	()	4.)	()
1987年度	2件	8.50	0件	
	1. 食糧援助	(3.50)	1.)	()
	2. サン・サルグワートル市復旧計画	(5.00)	2.)	()
	3.)	()	3.)	()
	4.)	()	4.)	()
1988年度	2件	8.65	0件	
	1. 食糧増産援助	(3.00)	1.)	()
	2. 首都圏汚染対策整備計画	(5.65)	2.)	()
	3.)	()	3.)	()
	4.)	()	4.)	()
1989年度	3件	7.26	0件	
	1. 食糧増産援助	(3.00)	1.)	()
	2. 緊急車整備計画	(2.46)	2.)	()
	3. 低所得者住宅建設計画	(1.80)	3.)	()
	4.)	()	4.)	()
1990年度	4件	7.23	0件	
	1. 食糧増産援助	(2.50)	1.)	()
	2. アカフトラ森何気機材整備計画	(4.19)	2.)	()
	3. 国立劇場に対する音響・照明機材	(0.50)	3.)	()
	4. 小規模無償	(0.04)	4.)	()

IV. プロジェクト配置図

1. プロジェクト方式技術協力

[1974～1991年度]



案件：無

注) ・記載の案件名はファクトシートによる
・○印は、平成4年4月20日
現在実施中の案件を示す

2. 開発調査

[1974～1991年度]



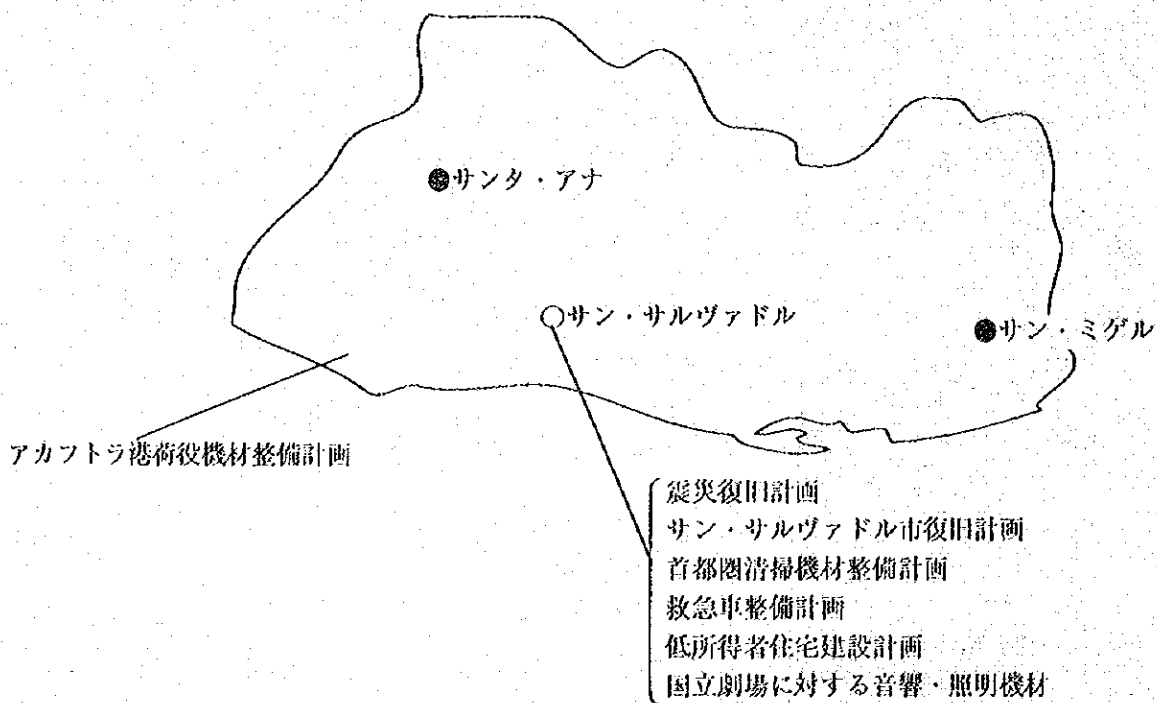
<広域>

金属機械工業開発計画調査

注) ・記載の案件名はファクトシートによる
・○印は、平成4年4月1日
現在実施中の案件を示す

3. 無償資金協力

[1986～1990年度]



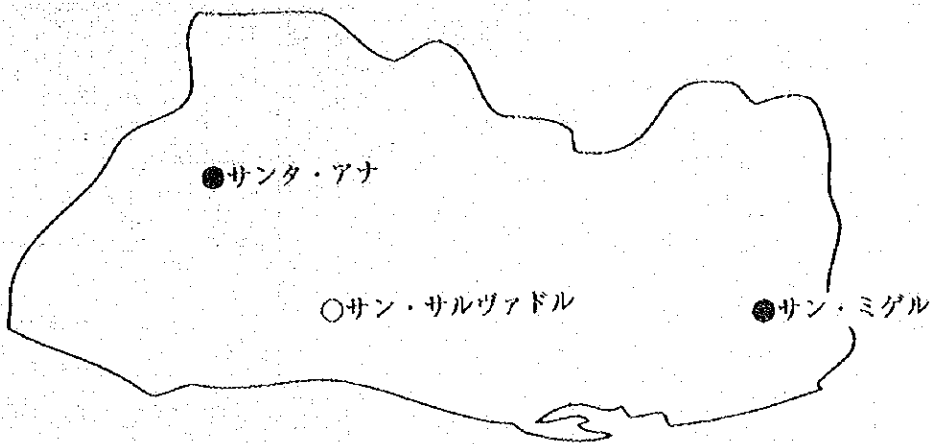
<広域>

- 食糧援助 (1986)
- 食糧援助 (1987)
- 食糧増産援助 (1988)
- 食糧増産援助 (1989)
- 食糧増産援助 (1990)
- 災害緊急援助 (地震災害)
- 小規模無償

注) ・記載の案件名はファクトシートによる

4. 円借款

[1986～1990年度]



案件：無

注)・記載の案件名はファクトシートによる

〈参考資料一覧表〉

No. 1

項 目	資 料 名	発 行
I. 概 況	World Development Report, 1992 イミダス, 1992 東京銀行月報, 第44巻 第6号 1992 ミリタリー・バランス, 1992 世界の国一覧表, 1991 ユネスコ文化統計年鑑, 1986 エル・サルヴァドル共和国概観, 1989, 1991 THE WORLD, 1991 世界各国経済情報 ファイル	The World Bank 集英社 東京銀行 メイナード出版 世界の動き社 原書房 外務省 WE I S
II. 経済情勢及び経済・社会 開発計画 1. 経済情勢	Country Report : BI Salvador, No. 2 1992 エル・サルヴァドル共和国概観, 1989, 1991 ラテン・アメリカ事報, 1990 ラテン・アメリカ事典, 1989 日本経済新聞, 1992. 1. 17 中南米での暮らし: エル・サルヴァド ル 最新世界各国要覧, 1991	E I U 外務省 ラテン・アメリカ協会 ラテン・アメリカ協会 日本経済新聞 国際協力サービスセンター 東京書籍
2. 国家経済社会開発計画	エル・サルヴァドルの経済社会の 現状, 1977年度調査 中南米諸国便覧 Country Profile : BI Salvador, 1991 -92 ラテン・アメリカ事典, 1989 日本経済新聞, 1992. 1. 17	国際協力推進協会 ラテン・アメリカ協会 E I U ラテン・アメリカ協会 日本経済新聞
3. 我が国との関係	ラテン・アメリカ事典, 1989	ラテン・アメリカ協会

項 目	資 料 名	発 行
III. 援助実績と動向 1. 援助の概況	我が国の政府開発援助, 1991 Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries, 1992	国際協力推進協会 O E C D
2. 主要援助国及び国際機関の 援助実績と動向	我が国の政府開発援助, 1991 Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries, 1992 世界銀行年次報告, 1986-1991	国際協力推進協会 O E C D The World Bank
3. 我が国の援助実績と動向	我が国の政府開発援助, 1991 国際協力事業団実績表, 1991 ファクトシート, 1992 国際協力事業団年報, 1991	国際協力推進協会 国際協力事業団 国際協力事業団 国際協力事業団
4. ファクトシート	実績資料全般	国際協力事業団
IV. プロジェクト配置図	ファクトシート, 1992	国際協力事業団



●エル・サルヴァドル共和国